

環境・生態系保全対策 技術講習会（サンゴ礁）【沖縄会場】

平成23年10月13日（木）～10月14日（金）の2日間、沖縄県那覇市において、サンゴ礁の技術講習会を開催いたしました。参加者は、高知県や鹿児島県などの沖縄県外地域からもご参加いただきました（参加者数26名）。

講習会初日は、「サンゴ種苗生産・移植のポイント」、「サンゴ類の重要性とサンゴ移植について」と題し、サンゴの減少要因から、サンゴ種苗の方式の違いによるメリット・デメリット、サンゴ移植の方法等、実際に行われている各種方式を具体的に学びました。また、意見交換会においては、各活動組織から活動状況や現状における課題等を発表してもらい、情報を共有すると共に、専門家の方々から活動内容に沿った具体的なアドバイスをいただきました。

室内講義に加え、「サンゴ種苗生産・移植の視察」と題し、陸上生産施設及び海上中間育成施設の視察を行いました。卵の採取の方法や生産の方法等、機器や設備を実際に紹介して頂きながら説明をいただくと共に、グラスボートやシュノーケリングにより移植したサンゴや中間育成施設等の観察も行い、とても有意義な2日間となりました。

● 講義



「サンゴ種苗生産・移植活動のポイント」について



「サンゴ類の重要性とサンゴ移植」について

● 意見交換会



参加者による各地域の活動状況の発表と意見交換会



専門家からの活動内容に沿った具体的なアドバイス

● 野外実習



サンゴ種苗生産施設の施設と専門家からの具体的な卵採取方法及び移植方法の説明



グラスボートからの移植地の観察



シュノーケリングによる移植地及び海上中間育成施設の観察



サンゴ中間育成施設



中間育成中のサンゴ

